



ロゴマークのコンセプト

■ アース・カラー ■

長沼の頭文字「N」をモチーフに、「地球環境の健全化」への願いを込めて、アースカラーの球形パターンが連鎖的に変化しています。

■ グリーン・カラー ■

弊社がリサイクル産業の先鞭を歩むことによって、「環境」及び「緑」の再生に貢献したいという強い意志を表しています。

金属リサイクルのパイオニア

長沼商事株式会社

〒359-1167 埼玉県所沢市林一丁目306番地の7

TEL. 04-2947-8870 (代表)

FAX. 04-2947-8881

E-mail : info@recycle-eco.com

https://www.recycle-eco.com



NAGANUMA Shouji. Co.,Ltd.



Sustainable
Development
Goals



長沼商事株式会社

長沼商事株式会社は、資源の高品位なリサイクルを通じ、環境負荷の少ない社会の実現に向け貢献していきます。

- 一、 我々は、正直である事を旨とし、共に働く社員一人ひとりの幸せの実現の為、常に研鑽に励み、共に協力し業務を遂行します。
- 一、 我々は、お客様に商品、サービスの提供を通じ、より高い価値を提供します。
- 一、 我々は、現状に満足せず、より高い価値をお客様に提供する為に、常に研究、改善に取り組みます。
- 一、 我々の理念は、世界に共通するものであり、分け隔てなく共に働き、理念を追求します。
- 一、 我々は、我々の理念を追求し、適正な利益を得る事で会社を発展させ、社会に貢献していきます。

弊社は、昭和26年の法人化以来、鉄・非鉄スクラップを中心としたリサイクル業を営んで参りました。

この70余年、資源リサイクルは、品物自体の単純リサイクルから、如何に環境負荷を減らしリサイクルを行うか、そして如何に地球環境に貢献していくかが求められる様に変化して参りました。1972年に発表されたローマクラブによる「成長の限界」では、100年以内に地球上の成長が限界に達すると述べてられています。今年は、ちょうど50年目に当たります。

弊社では、2001年に環境負荷を引き下げる事を目指した新工場を建設し、そしてこの折り返しの年に、SDGsの取り組みを本格的にスタートさせました。地域・社会に貢献する企業として、環境資産の次世代への継承に向け、今後も積極的に取り組んで参る所存です。

代表取締役 社長 長沼 浩



買取品目・・・廃棄物を資源としてリサイクル

● Iron & nonferrous metal

排出事業者の責任を重視し、弊社では廃棄物処理法に則った適正な処理を行っています。



鉄等スクラップ



H鋼等厚物で長さ80cm以内(※長物は格落ち)



鉄筋棒で長さ80cm以内(※長物は格落ち)



多少の肉厚あり 80cm以上 足場板及びパイプ等



スチールロッカーやキャビネット等

丸 特 鉄筋短物
シャー B シャー C



トタンやフェンス等の薄物



打ち抜きの薄物鉄板(メッキは格落ち)



ステン風呂桶やシンク 80cm以上でハンダや不純物あり



給湯器等

鉄千地 A 新断 A
解体ステン 湯沸かし

鉄等スクラップ

スクラップ 買取品目 1

スクラップ 買取品目 1

非鉄スクラップ



エアコンの配管等(緑青が無い物)



緑青が出ているもの(不純物なし)



蛇口等(不純物類が付いている場合は格落ち)



銅の被覆線

上故銅 2号銅
解体真鍮 雑線系



住宅用解体サッシ等



ビス等不純物等が付いてないもので1.5m以下



アルミの鋳物系



鍋や薄物のアルミ(鋳物系以外)

解体サッシ 新切サッシ
キカイニウム ガラニウム

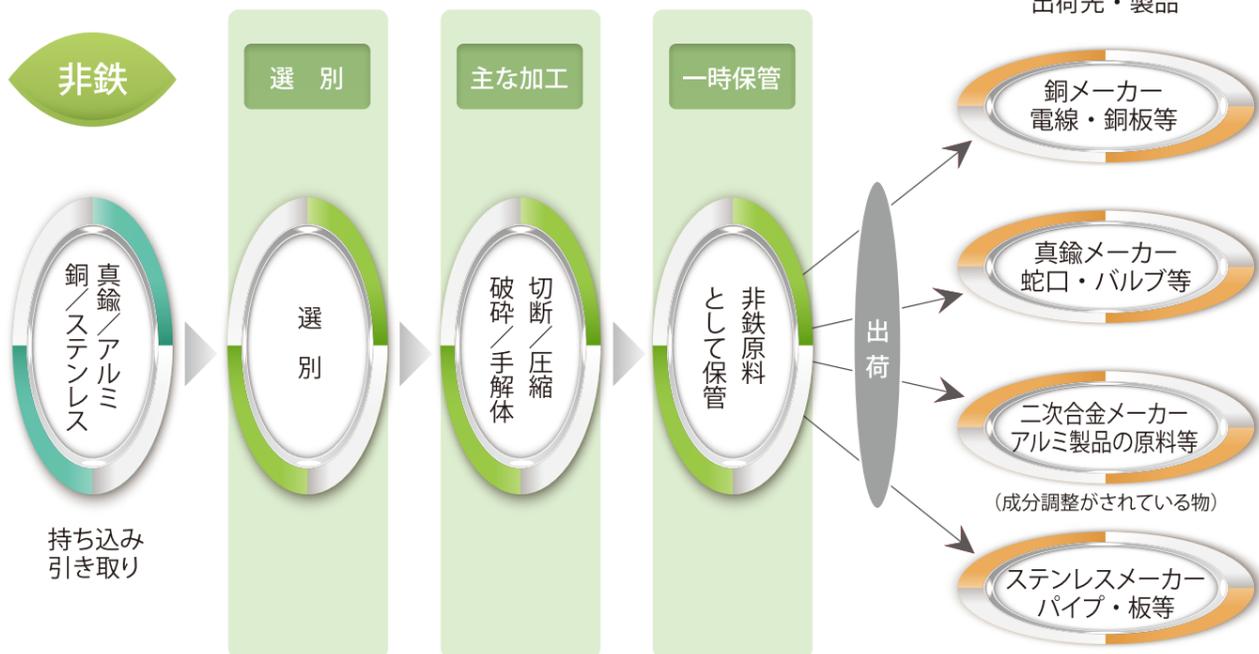
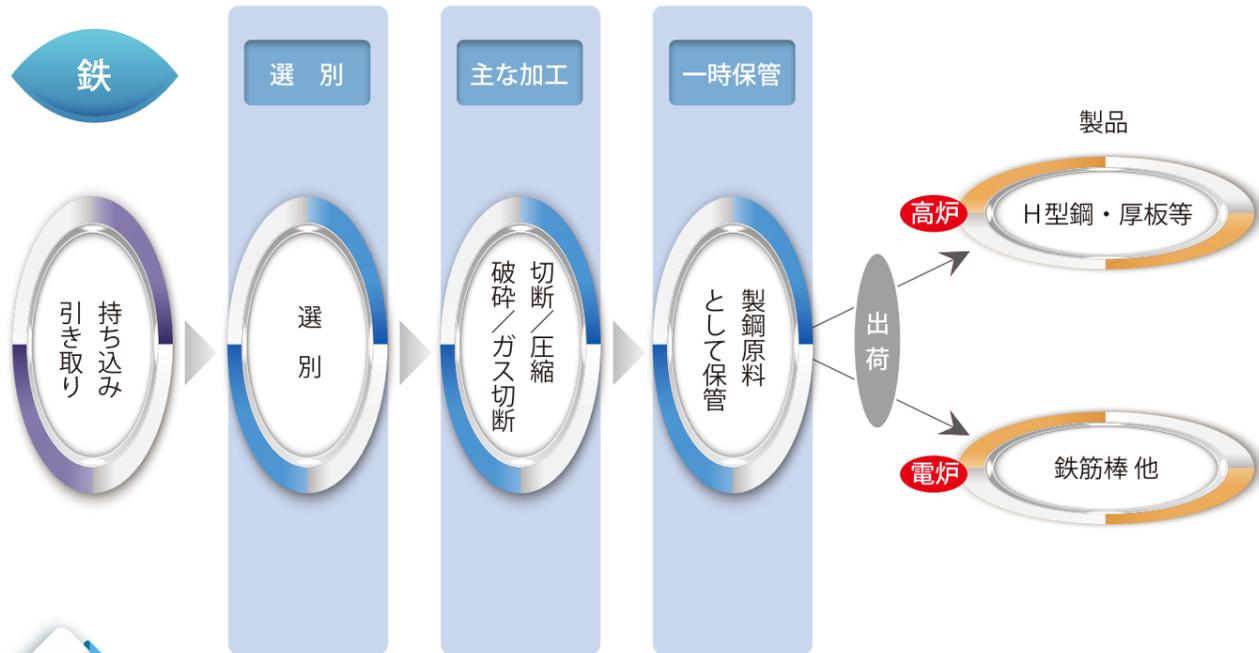
非鉄スクラップ



リサイクル処理スキームと加工後の製品

● Iron & nonferrous metal recycling scheme

徹底した高精度の選別で良質な原料を提供



当社による加工後の製鋼・製品原料です。このような状態でメーカーへ出荷します。



鉄_切断後製品



スチール缶プレス



鉄シュレッダー



丸特



鉄_ダライ粉



特号銅



2号銅



上故銅



真鍮コロ



メッキ砲金



砲金



込真鍮



63新切プレス



アルミガラプレス



上キカイニウム



アルミ合金



アルミ缶プレス



アルミ粉



新切ステンレス



解体ステンレス



雑線A



Introduction of extrusion Shredded AL Scrap

● NS63SHR

What is NS63SHR?

- ▶ 名称: NS63SHR (商標登録 第5254005号)
N=Naganuma, S=Syouji
- ▶ 生産量 100mt/Month
- ▶ 納入形態 ・バラ ・オリジナルフレコンバック (約1m³)



サッシ to サッシに向けて

住宅解体などから発生するサッシスクラップは、ダイカスト用のADC12などにリサイクルされていますが、ADC12からサッシを作る事は出来ません。徐々に他成分の混入が増えていくカスケードリサイクルではなく、水平展開のリサイクルこそ重要ではないでしょうか。弊社では、アルミサッシのリサイクルに於いて、サッシtoサッシ事業を展開しており、サッシメーカー様を始め、多くのお客様に原料を供給しております。



長沼商事が目指す持続可能な社会

弊社は、地域社会の発展と地球環境に貢献すべく、「環境負荷の少ない社会の実現」を経営理念に掲げ、行動してまいりました。この考え方は、持続可能な開発目標 (SDGs) と同じ方向を目指すものであり、これからも社員ひとりひとりが誠実に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

SDGs 達成に向けた主な取組内容

11 住み続けられるまちづくりを
目標1 [社会貢献活動]
 工業団地の美化活動・弊社工場外周の清掃活動を実施しています。

12 つくる責任 つかう責任
目標2 [3Rの推進]
 高精度選別による高品位リサイクル (水平展開のリサイクル) を実施し 廃棄物を減量しています。

13 気候変動に具体的な対策を
目標3 [環境学習]
 近隣の小学生などの工場見学を受け入れ 環境教育を実施できるよう体制を構築しています。

3 すべての人に健康と福祉を
目標4 [化学物質等]
 スプレー缶等無害化処理施設を活用して 化学物質の削減、適正な処理を実施しています。

4 質の高い教育をみんなに
目標5 [人材教育]
 SDGs 教育や社員研修等を実施し 社員の能力向上を目指しています。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
目標6 [省エネ]
 工場内の照明のLED化・デマンドコントロールによって省エネを実施しています。



設備・・・天井走行クレーン・切断機



天井走行クレーン(リフマグ付)

電磁マグネットにより、吊り下げ能力4.8tの乗用クレーンを2基装備しています。



切断機(ダブルクランプッシャー)

形鋼・丸鋼・鉄筋棒鋼、建築廃材などの処理を、圧縮圧1,000tで切断する機械です。

設備 5

加工設備

| | | |
|-------------------|--------|----|
| 切断機 (ダブルクランプッシャー) | 1000t圧 | 1基 |
| 圧縮機 (スクラッププレス) | 200t圧 | 1基 |
| 破砕機 (アイダル形) | 190kw | 1基 |
| 横二軸式破砕機 | | 1基 |
| スプレー缶無害化処理機 | | 3基 |
| 使い捨てライター無害化処理機 | | 1基 |

その他設備

| | | |
|------------------|-----|-----|
| 騒音計 NL-06 検定付 | | 1基 |
| トラックスケール (公認計量器) | 60t | 1基 |
| 車両 大型トレーラー他 | | 13台 |

荷役設備

| | | |
|------------------|------|----|
| 天井走行クレーン (リフマグ付) | 4.8t | 2基 |
| パワーショベル | | 3台 |
| ショベルローダー | 2.0t | 1台 |
| フォークリフト | | 9台 |

横二軸式破碎機(プレシュレッダー)

破碎機の安定稼働のため、
前処理を行います。



設備

5

破碎機(アイダル形)

不純物を含んだ鉄屑などを専門に処理
するための破碎機です。電動機190kw。



圧縮機(スクラッププレス)

空き缶などを、圧縮圧200tで
プレス可能にしました。

第2工場

穴を開けての回収から穴を開け
ない回収へ。市民と作業する人の
安全と安心を求めて。スプレー
缶・使い捨てライター無害化処理
専用工場を稼働いたしました。



5

設備

スプレー缶・使い捨てライター無害化処理システム

スプレー缶・使い捨てライターの内部に残留する可燃ガスを
安全・安心・確実に無害化処理します。

車両(大型トレーラー他)

あらゆる場面で迅速に対応可能な
弊社の機動ラインナップ





私たちの会社概要をご紹介します

• Our companies are the following outlines.

■ 社名

長沼商事株式会社

■ 設立

1951年5月28日

■ 本社

- ・ 第1工場
〒359-1167
埼玉県所沢市林一丁目306番地の7
TEL：04-2947-8870（代表）
FAX：04-2947-8881
- ・ 第2工場
〒359-1167
埼玉県所沢市林一丁目308番地の10
- ・ 第3工場
〒358-0014
埼玉県入間市宮寺2643番地1
- ・ 賃貸事業
〒359-1144
埼玉県所沢市西所沢一丁目26番地の4

■ 資本金

5,250万円

■ 取引銀行

- ・ 埼玉りそな銀行 所沢支店
- ・ 飯能信用金庫 所沢支店
- ・ 商工中金 さいたま支店

■ 事業

- ・ 鉄屑、非鉄金属の加工処理並びに販売
- ・ 機械器具工具、建築金物の買入れ並びに販売
- ・ 廃棄物の処理に関する業務
- ・ 計量法に基づく計量証明事業
- ・ 不動産の賃貸及び管理

■ 取扱品目

- ・ 製鋼原料（鉄屑）
- ・ 非鉄金属（銅、アルミ、その他）
- ・ 産業廃棄物・一般廃棄物

■ 従業員 40名

■ Company name

NAGANUMA Shouji. Co., Ltd.

■ Incorporation procedures

May 28, 1951

■ Head Office

1-306-7 Hayashi
Tokorozawa-Shi, Saitama Pref.
359-1167, Japan
Tel：04-2947-8870（81-4-2947-8870）
Fax：04-2947-8881（81-4-2947-8881）

■ Paid-in Capital

¥ 52.5 million

■ Work content

- ・ Processing, treatment of a steel scrap and nonferrous metal, and sale
- ・ Purchase of a machine, instrument, tool and construction hardware, and sale
- ・ Business about processing of waste
- ・ Measurement certification based on the Measurement Law
- ・ Lease and management of real estate

■ Products

- ・ Ferrous scrap
- ・ Nonferrous scrap (copper, aluminum, others)
- ・ Industrial waste & wastes



■ 主な販売先

- ・ 日鉄物産株式会社
- ・ 三井物産メタルズ株式会社
- ・ 伊藤忠メタルズ株式会社
- ・ 兼松トレーディング株式会社
- ・ 阪和興業株式会社
- ・ 株式会社 泉

■ 主な納入先

- ・ 株式会社城南製鋼所
- ・ 株式会社向山工場
- ・ JFE条鋼株式会社
- ・ 東京製鐵株式会社
- ・ 日本製鉄株式会社
- ・ 株式会社LIXIL
- ・ YKK AP株式会社
- ・ 新豆陽金属工業株式会社
- ・ 新菱アルミテクノ株式会社
- ・ アサヒセイレン株式会社

■ 主な仕入先

- ・ 地方自治体
- ・ 西武鉄道株式会社
- ・ 株式会社三ヶ島製作所
- ・ 協同特殊鋼線株式会社
- ・ ジーエルサイエンス株式会社

■ 取得許認可

- ・ 産業廃棄物中間処分業
許可番号 01120035143（埼玉県知事）
- ・ 産業廃棄物収集運搬業
許可番号 01102035143（埼玉県知事）
許可番号 13-00-035143（東京都知事）
許可番号 09400035143（いわき市）
- ・ 古物商
許可番号 所 第182号（埼玉県公安委員会）
- ・ 一般廃棄物処理業（収集運搬・積替保管を除く）
許可番号 第23号（所沢市長）
- ・ 計量証明事業
登録番号 第48号（埼玉県知事）

■ 加盟団体

- ・ 一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会
- ・ アルミ缶リサイクル協会
- ・ 社団法人 埼玉県産業廃棄物協会
- ・ 所沢警察官友の会
- ・ 所沢警察署防犯協力会
- ・ 社団法人 所沢法人会
- ・ 所沢商工会議所
- ・ 彩の国工場振興協議会
- ・ 所沢防災親和会

■ Customer

- ・ NIPPON STEEL TRADING CORPORATION
- ・ Mitsui Bussan Metals Co., Ltd.
- ・ ITOCHU Metals Corporation
- ・ KANEMATSU TRADING CORP.
- ・ HANWA CO., LTD.
- ・ IZUMI Co., Ltd.

■ Delivery place

- ・ JONAN STEEL CORPORATION
- ・ MUKOYAMA STEEL WORKS Co., Ltd.
- ・ JFE Bars & Shapes Corporation
- ・ TOKYO STEEL Co., LTD.
- ・ NIPPON STEEL CORPORATION
- ・ LIXIL Corporation
- ・ YKK AP Inc.
- ・ SHINZUYO METAL INDUSTRY CO., LTD.
- ・ Shinryou alumi techno
- ・ Asahi Seiren Co., Ltd.

- ・ 株式会社IHIジェットサービス
- ・ OKIネクステック株式会社
- ・ その他各種メーカー
- ・ 鉄屑・解体業者等含め約500社

●●●● Lease operation division



賃貸事業部



(株)西友・西所沢店として
お使いいただいております。



●●●● Representative career



代表者経歴

| | | | | |
|---|-------|-------|-----------------------------------|--|
|  代表取締役 社長 長 沼 浩 | 昭和40年 | 4月22日 | 誕生 | ■ 役職 所沢商工会議所常議員 所沢リサイクル事業協同組合代表理事 社団法人 所沢法人会常任理事 所沢商工会議所工業部会部会長 |
| | 平成2年 | 3月 | 湘南工科大学 電気工学部卒業 | |
| | 3年 | 4月 | 長沼商事(株)に入社 | |
| | 12年 | 5月 | 常務取締役就任 | |
| | 16年 | 5月 | 専務取締役就任 | |
| | 20年 | 11月 | 代表取締役社長就任 | |
| | 29年 | 3月 | 立教大学大学院 ビジネスデザイン 研究科卒業(MBA) | |

沿 革

●●●● History



| | | |
|-------|-----|--|
| 昭和12年 | 4月 | 所沢において故長沼伊与蔵個人経営をもって古物商を営み陸軍御用商人として陸軍等の競争入札に参加、今日の仕事の基礎を築く。 |
| 20年 | 10月 | 米軍の所沢進駐と同時に所沢基地内の清掃並びに廃品処理を開始する。 |
| 22年 | 7月 | 大蔵省財務局浦和財務部の入札指定業者に指名され本格的な製鋼原料問屋として営業を開始する。 |
| 26年 | 5月 | 法人組織となり、株式会社長沼商会を設立し営業を継続する。 |
| 27年 | 10月 | 米軍財産処理局の入札指定業者の許可を受け、金属屑等の払い下げを受けスクラップの販売量が急激に増加する。 |
| 29年 | 1月 | 商号を長沼商事株式会社に変更。 |
| 30年 | 7月 | 横浜税関に許可を受け保税工場を設置、昭和46年1月まで営業。 |
| 48年 | 12月 | 工場設備の大改築を行いヤードの整備に伴う天井走行クレーン、大型プレス等の設置により現在の工場設備の基本的な部分について建設を行う。 このため、スクラップの処理能力は急激に上昇し、今日の経営発展に多大に寄与する。 |
| 49年 | 12月 | 資本金を500万円に増資。 |
| 52年 | | シュレッダーを自主開発。 |
| 56年 | 3月 | 大型ギロチンシャーを導入し、処理設備の合理化に努める。 |
| 63年 | 8月 | シュレッダー老朽化の為廃棄し、その場所に超大型ギロチンシャーを導入し、月間約3,000トン以上の処理能力を有する。 |
| 平成4年 | 6月 | 資本金を1,000万円に増資し、工場を移転すべく準備に入る。 |
| 13年 | 4月 | 環境に配慮した新工場にて営業開始。 工場設備等の配置、新処理機械の能力増強により、月間処理量5,000トンを目指す。 |
| | 11月 | 産業廃棄物中間処分業許可取得 第2工場建設 NS63SHR生産プラント建設 |
| | 12月 | 資本金を2,500万円に増資。 |
| 14年 | 1月 | 事業拡大にともない資本金を5,000万円に増資。 |
| 15年 | 8月 | 事業拡大にともない資本金を5,250万円に増資。 |
| 16年 | 10月 | 埼玉県より彩の国工場の指定を受ける。 |
| 20年 | 5月 | 第2工場稼働 |
| 21年 | 3月 | 「NS63SHR」商標登録 |
| | 4月 | NS63SHR海外輸出開始 |
| 25年 | 4月 | スプレー缶・使い捨てライター無害化処理設備導入 |
| 28年 | 9月 | スプレー缶・使い捨てライター無害化処理専用工場稼働 |
| 令和4年 | 1月 | 埼玉県環境SDGs取組宣言企業掲載 |
| | 3月 | 埼玉県SDGsパートナー登録 第3工場稼働 |

